

“慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息の鑑別診断と、吸入ステロイド薬の適応における好酸球性気道炎症および気道過敏性亢進の検索の有用性“

医学情報の研究利用について

このたび、りんくう総合医療センター呼吸器内科は自主研究として“慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息の鑑別診断と、吸入ステロイド薬の適応における好酸球性気道炎症および気道過敏性亢進の検索の有用性“を実施することになりました。調査対象となるのは2012年4月1日から2019年3月31日までの間に当施設を受診し、慢性閉塞性肺疾患(肺気腫を含む)、気管支喘息と診断された患者様です。

この研究における調査項目は、年齢、性別、既往歴、検査所見、治療内容などです。これらのデータの管理において、すべての患者様は匿名化され、お名前、住所、電話番号などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、何かの負担が生じることもありませんのでご安心ください。調査したデータは集計された後に、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息の診断、管理、治療を発展させるため解析がおこなわれます。データについては、研究期間中(2014年9月から2019年3月)は研究責任者のもとで厳重に管理され、研究終了後に紙媒体の資料はシュレッダーで破棄され、電子媒体の資料は匿名化した状態で完全に消去されます。また、この研究で得られた結果については医学専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。

本研究の調査対象の患者様で調査に同意されない方はお申し出ください。

このお知らせは、2014年9月から2019年3月までりんくう総合医療センターに掲示します。

研究責任者

りんくう総合医療センター 呼吸器内科

久米裕昭

電話:072-469-3111(代表)